



真剣勝負の尊さ

ヤマハ株式会社

代表取締役社長 中田 卓也

弊社では、社員が日々の仕事のよりどころにすべき行動指針を「ヤマハウエイ」として定めています。高い「志」に向かって、「誠実」な姿勢を貫き、日々、「自発」的に「挑戦」し、最後まで諦めずに「やり切る（執着）」。決して特別な言葉ではありませんが、この5つのキーワードが、ヤマハ社員が心に刻んでいる「ウェイ」です。

昨秋、私たちの仲間が「2つの日本一」に輝きました。ひとつは『第64回全日本吹奏楽コンクール』においてヤマハ吹奏楽団が史上最多33回目の金賞を受賞。もうひとつは、その日本一の楽団と社員や地域の皆さまの応援に後押しされて、ヤマハ野球部が達成してつかんだ『第42回社会人野球日本選手権大会』での初優勝です。

「絶対に勝つ」という強い志を持って戦いに挑む。そのためには、誠実な姿勢で自ら厳しい練習に取り組み、どんなに苦しくても、最後の最後まで決して諦めずにやり抜く。吹奏楽団と野球部が見せてくれたのは、まさにヤマハウエイの体現そのものでした。そして、このような仲間の活躍を目の当たりにして、多くの社員が喜びや感動を分かち合い、非常に元気づけられました。それに加えて、お取引先や地域のご関係の皆さまからも、驚くほどたくさんのお祝いのメッセージを賜りました。会社の活動を通して社員や地域が一体になれる。これこそ企業がスポーツや文化活動に取り組む価値なのだと胸が熱くなったものです。

なぜ、野球部と吹奏楽団のメンバーはあそこまで私たちを感動させたのでしょうか。私はそこには誰もがかなわないほどの“真剣勝負”があったからだと思います。野球部と吹奏楽団のメンバーは一球一球、一音一音が結果であり、厳しい勝負をしていたのです。彼らの姿を見て、自分自身の仕事を振り返ったとき、「もっと一瞬一瞬を大切にしないといけない」と強く思い、真剣勝負の尊さを学びました。

昨年の社会人野球は、2大大会といわれる、都市対抗と日本選手権とともに中部地区のチームが優勝し、この地区は全国トップレベルの強豪チームがひしめく激戦区といわれるようになりました。企業スポーツがこれほど盛んに行われているのは、この地域の“元気さ”を象徴的に表していると思います。

本業はもちろんのこと、スポーツ・文化活動など、弊社としても中部地区の更なる発展に貢献できるようこれからも挑戦を続けていきたいと思っています。